

スポーツと人情が熱いまち 夢への加速予算

「SPORTS & SUPPORTS
KOTO City in TOKYO

スポーツと人情が熱いまち 江東区」これが今年から本格的に本区の魅力を発信するブランドコンセプトです。2020年東京オリンピック・パラリンピックで数多くの競技場が配置される江東区は、昨年6月に、ついに人口50万人を突破しました。また本年11月には豊洲市場が開場するなど、本区をめぐる環境は大きく変化しており、益々活気にあふれ、人が集まる「熱い」まちに変貌を遂げて

いきます。今回の予算は東京オリンピック・パラリンピックの成功に向けた着実な準備を行うとともに、様々な行政課題に的確に応えるため、「スポーツと人情が熱いまち 夢への加速予算」といたしました。

平成28年度当初予算編成にあたっては、区税をはじめとした歳入環境の好転を背景に、本区特有の人口増加を要因とする課題として、有明地区の小学校・中学校整備に着手するほか、急増する保育需要に対応するため、認可保育所等を整備し1,000人程度の定員を新たに確保します。また、各家庭のニーズに応じて、妊娠期から子育て期にわたって切れ目なく支援を行う、妊娠出産支援事業を開始するなど、区政各般にわたり積極果敢な施策を展開し、区民の皆さんが安心、快適に生活できる、本区の魅力を十分に引き出した予算案となりました。区民の皆さんの関心と期待の高まる、東京オリンピック・パラリンピックの成功はもちろん、その後も見据えた区政運営に、今後も積極的に取り組んでまいります。



江東区長 山崎孝明

平成28年2月